

令和四年十月十二日開会
令和四年十月十二日閉会

令和四年第二回臨時会会議録

西之表市議会

令和四年第二回西之表市議会臨時会会議録目次

第一号 十月十二日(水)

一、開 会	五
一、開 議	五
一、会議録署名議員の指名	五
一、会期の決定	五
一、提出議案の上程	五
一、市長の提案理由説明	六
八板市長	六
一、議案審議	六
議案第五四号 令和四年度西之表市一般会計補正予算(第六号)	六
下川財産監理課長説明	六
一、休 憩	九
一、再 開	九
議案第五四号 令和四年度西之表市一般会計補正予算(第六号)	九
長野予算特別委員長報告	九
橋口美幸さん反対討論	〇
田添辰郎君賛成討論	二
宇野裕未さん反対討論	二
一、市長挨拶	五
八板市長	五

一、閉会
.....
一五

令和四年第二回西之表市議会臨時会

一、会期日程

十・十二	月 日		
水	曜		
本 会 議	種 別		
		内	容
開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、提出議案の上程、市長の提案理由説明、議案審議 (議案説明・委員会付託・予算特別委員会委員長報告・討論・表決)、閉会			

一、付議事件

番 号

議案第 五四号

事 件 名

令和四年度西之表市一般会計補正予算（第六号）

審議方法

委員会付託

結 果

十 月 十二 日原案可決

本
会
議
第
一
号
（
十
月
十
二
日
）

本会議第一号（十月十二日）（水）

◎出席議員（十四名）

一番 長野 広美 さん
二番 鮫島 市憲 君
三番 橋口 美幸 さん
四番 渡辺 道大 君
五番 宇野 裕未 さん
六番 杉 為昭 君
七番 川村 孝則 君
八番 河本 幸男 君
九番 濱島 明人 君
一〇番 下川 和博 君
一一番 遠藤 建次郎 君
一二番 竹下 秀樹 君
一三番 田添 辰郎 君
一四番 橋口 好文 君

◎欠席議員（〇名）

◎地方自治法第二百一十一条による出席者

市 長	八板 俊輔 君
副 市 長	大平 和男 君
教 育 長	佐藤 秀正 君
会計管理者兼 会計課長	下川 由喜 さん
総務課長兼 選管書記長	松下 成悟 君
企画課長	森 真樹 君
市民生活課長	平石 栄夫 君
財産監理課長	下川 法男 君
地域支援課長	松元 明和 君
税務課長	長野 望 君
健康保険課長	中里 千秋 君
高齢者支援課長	柳田 さゆり さん
経済観光課長	高石 心平 君
農林水産課長	岩下 栄一 君

◎議会議務局職員出席者

建設課長	奥村裕昭君
水道課長	高橋英樹君
福祉事務所長	下川昭代さん
農委事務局長	中野賢二君
監査事務局長	川畑利昭君
教委総務課長兼	吉田孝一君
学校給食センター所長	
学校教育課長	山崎省一君
社会教育課長	古市善哉君
局長	園田博己君
次長	山田正次君
書記	上妻文和君
書記	和田帆波さん

令和四年十月十二日午前十時開会

△開 会

○議長（川村孝則君） 皆さん、おはようございます。

定刻、定足数に達しましたので、これより令和四年第二回西之表市議会臨時会を開会いたします。

△開 議

○議長（川村孝則君） ただいままでの出席議員は十四名であります。

これより本日の会議を開きます。
本日の日程は、配付しております議事日程第一号のとおりであります。

議事日程（第一号）

- 日程第一 会議録署名議員の指名
- 日程第二 会期の決定
- 日程第三 提出議案の上程
- 日程第四 市長の提案理由説明
- 日程第五 議案第五四号 令和四年度西之表市一般会計補正予算（第六号）

△会議録署名議員の指名

○議長（川村孝則君） それでは、日程第一、会議録署名議員の指名をいたします。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第八十八条の規定により、九番議員濱島明人君、一〇番議員下川和博君を指名いたします。

△会期の決定

○議長（川村孝則君） 次は、日程第二、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

昨日十月十一日開催、議会運営委員会の決定のとおり、本臨時会の会期は本日一日間とし、配付しておる日程表のとおりしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

「〔異議なし〕と呼ぶ者あり」

○議長（川村孝則君） 御異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は本日一日間とし、配付してある日程表のとおり決定いたしました。

△提出議案の上程

○議長（川村孝則君） 次は、日程第三、提出議案の上程であります。

す。

議案第五四号、令和四年度西之表市一般会計補正予算（第六号）を上程いたします。

△市長の提案理由説明

○議長（川村孝則君） 次は、日程第四、市長の提案理由説明を求めます。

〔市長 八板俊輔君登壇〕

○市長（八板俊輔君） おはようございます。

本日ここに、令和四年第二回西之表市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位にはお忙しい中に御出席くださいます、誠にありがとうございます。

政府は、新しい資本主義の旗印の下で、三つの重点分野として、物価高、円安への対応、構造的な賃上げ、成果のための投資と改革の各分野で取組を進めています。

このような状況を踏まえ、コロナ禍の脱却も視野に入れ、緊急ではありませんが、本日の臨時会で議案第五四号、令和四年度西之表市一般会計補正予算（第六号）を提案させていただきます。

提案理由の主なものにつきましては、政府が掲げる原油、物価高騰への対策支援等によるもの、台風十四号による災害復旧工事等によるもの、バイオ燃料製造施設のさらなる活用のための移設工事によるもので、歳入歳出それぞれに一億六千七百五十三万五千円を追

加し、全体で、予算を百十八億四千四百七十二万円とするものであります。

以上で提案理由の説明を終わります。御審議のほど、よろしくお願いたします。

○議長（川村孝則君） 市長の提案理由の説明は終わりました。

△議案審議

それでは、これより議案審議を行います。

△議案第五四号 令和四年度西之表市一般会計補正予算（第六号）

○議長（川村孝則君） まずは、日程第五、議案第五四号、令和四年度西之表市一般会計補正予算（第六号）についてを議題といたします。

議案説明を求めます。

〔財産監理課長 下川法男君〕

○財産監理課長（下川法男君） 御説明をいたします。

本案は、議案第五四号、令和四年度西之表市一般会計補正予算（第六号）でございます。

別冊、予算書条文を御覧ください。

第一条は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ一億六千七百五十三万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ

百十八億四千四百七十二万円とするものがございます。

三ページをお開きください。

第二表、地方債補正の追加は一件でございます。

九月に発生いたしました台風十四号による災害に対応するため災害復旧債を一千六十万円追加するものがございます。

それでは、今回の歳入歳出予算の歳出について、金額の大きいもの、特徴的なものについて御説明をいたします。

八ページをお開きください。

最上段になります。二款総務費、一項総務管理費、十目財産管理費に五千九百一十一千円増額しております。こちらは、二十四節積立金、説明欄にありますように、公共施設建設基金へ三千六百八十八万三千円の増額、その下、西之表市学校教育施設整備基金へ二千二百八十二万八千円の増額をそれぞれ計上しております。

その下になります。三款民生費、一項社会福祉費、二目老人福祉費に二千九十三万円増額しております。こちらは、介護サービス、介護予防サービス、介護予防・日常生活支援総合事業及び配食サービス事業者が実施しているサービスに係る光熱費、食材費、燃料費の価格高騰分を支援する新規事業、介護サービス事業者等物価高騰対策支援事業に係る経費として、十節需用費及び十八節負担金、補助及び交付金のうち、説明欄の介護サービス事業者等物価高騰対策支援を計上しております。また、介護保険施設の配置医又は嘱託医の指示の下、当該施設で新型コロナウイルス感染症陽性者の加療

等を行った介護保険施設に慰労金を支給する新規事業、介護保険施設等慰労金給付事業に係る経費として、十八節負担金、補助及び交付金のうち、説明欄、介護保険施設等慰労金を計上しております。

その下になります。八目障害者福祉費に七百五十万一千円増額をしております。こちらは、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用し、エネルギー、食料品等の急激な物価高騰の影響を受けている障害福祉サービス事業者に対し支援を行う新規事業、障害福祉サービス事業者物価高騰対策支援事業に係る経費を十節需用費及び十八節負担金、補助及び交付金にそれぞれ計上をしております。

その下になります。四款衛生費、一項保健衛生費、一目保健衛生総務費に一千二百四十四万円増額をしております。こちらは、市内保険医療機関等、感染病床を有する市内の医療機関及びPCR検査等無料化事業を実施している医療機関等に従事する医療従事者等に慰労金を支給する新規事業、西之表市保険医療機関等慰労金給付事業に係る経費を計上をしております。

九ページをお開きください。

二段目になります。六款商工費、一項商工費、二目商工振興費に一千百万円増額をしております。こちらは、六月補正で計上しました、コロナ禍において原油価格や電気、ガス料金を含む物価等の高騰の影響を受けている市内の中小企業及び小規模事業者に支援金を支給する原油・物価等高騰に係る支援事業について、引き続き下半

期の経営支援を行う経費を計上しております。

その下になります。五目産業創出費に七百五十万二千円増額をしております。こちらは、川迎バイオディーゼル燃料製造実証施設の撤去及び旧現和中学校配膳室へ移転、設置するための経費を計上しております。

一〇ページを御覧ください。

三段目になります。十款災害復旧費、一項農林水産施設災害復旧費、三目現年補助災害復旧費に一千三百六十七万五千円増額をしております。こちらは、台風十四号による災害、農地二件、施設三件の災害復旧に係る経費をそれぞれ計上をしております。

一一ページをお開きください。

二項公共土木施設災害復旧費、二目現年発生公共土木補助災害復旧事業に一千七百万円増額をしております。こちらは、台風十四号による市道二件の災害復旧に係る経費を計上をしております。

続きまして、歳入について御説明をいたします。

六ページをお開きください。

最上段になります。十四款国庫支出金、一項国庫負担金、三目災害復旧費国庫負担金に一千三百六十万円増額しております。こちらは、歳出で説明しました市道二件の災害復旧事業に対応する負担金を計上をしております。

その下になります。二項国庫補助金、五目総務費国庫補助金に六千九百五万五千円増額しております。こちらは、電力・ガス・食料

品等価格高騰重点支援地方交付金の創設に伴い増額となりました、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を計上をしております。

その下になります。十六款財産収入、二項財産売却収入、二目不動産売却収入に三千三百四十七万七千円増額しております。こちらは、九月追加議案として議決をいただきました、旧馬毛島小中学校跡地二筆、川迎旧たばこ育苗ハウス跡地十一筆の土地の売却予定価格を計上をしております。

最下段になります。二十款諸収入、四項雑入、一目雑入に二千五百五十三万三千円増額しております。こちらは、旧馬毛島小中学校跡地と川迎旧たばこ育苗ハウス跡地の建物補償金を計上をしております。

七ページをお開きください。

下段になります。二十一款市債、一項市債、五目災害復旧債に一千百六十万円増額しております。こちらは、歳出で説明しました市道及び農地、農業用施設の災害復旧事業に係る市債を計上しております。

以上で説明を終わります。

○議長（川村孝則君） 説明は終わりました。

予算特別委員会は、議長を除く十三名の議員で構成されておりますので、質疑は省略いたします。

本案は予算特別委員会に付託いたします。

ここで、予算特別委員会開催のため暫時休憩をいたします。

予算特別委員会委員長は直ちに委員会を開催し、付託案件の審査をお願いいたします。

再開時間については、庁内放送等でお知らせをいたします。

午前十時十三分休憩

午後一時三十七分再開

○議長（川村孝則君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案審議を続行いたします。

予算特別委員会委員長の報告を求めます。

〔予算特別委員長 長野広美さん登壇〕

○予算特別委員長（長野広美さん） それでは、本委員会が付託を受けた議案第五四号、令和四年度西之表市一般会計補正予算（第六号）について、審査の結果を御報告いたします。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ一億六千七百五十三万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ百十八億四千四百七十二万円に定めるものです。

地方債補正は一件で、台風十四号の災害に対応するため災害復旧債を追加し、限度額を一千六十万円と定めています。

それでは、歳出から御報告いたします。

二款、一項、十目財産管理費、二十四節積立金に、旧馬毛島小中学校跡地及び川迎旧たばこ育苗ハウス跡地の土地売払金と建物補償

金から公共施設建設基金に、また、旧馬毛島小中学校跡地の建物補償金から西之表市学校教育施設整備基金にそれぞれ充てられ、計上しています。

三款、一項、二目老人福祉費、十八節負担金、補助及び交付金では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に新設された電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用し、介護サービス事業者等が安定した介護サービスを提供できるよう、光熱費や食料費、燃料費の価格高騰分を支援する介護サービス事業者等物価高騰対策新事業と、介護保険施設のうち、新型コロナウイルス感染症陽性者の加療等を行った介護保険施設への慰労金を計上しています。

同款、同項、八目障害者福祉費では、同様に、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用し、障害福祉サービス事業者に対し、物価上昇率を踏まえた光熱水費や食料費等の追加、増加分を補助する障害福祉サービス事業者物価高騰対策支援事業を計上しています。

四款、一項、一目保健衛生総務費では、新型コロナウイルス感染拡大防止のために大きな負担を抱えながら医療に従事していただいた市内医療機関等並びに医療従事者に対し慰労金を支給するため、新型コロナウイルス感染症指定病院やPCR検査等事業を実施していただいている医療機関に従事されている医療従事者等への西之表市保険医療従事者慰労金と、市内の医療機関や歯科医院、薬局等に

対しての西之表市保険医療機関等慰労金を計上しています。

五款、一項、七目畑かん施設維持管理費では、台風十四号により被災した西京ダム監視局の修繕料及びコイン給水施設のポンプ取替に伴う修繕料が計上されています。

六款、一項、二目商工振興費では、原油・物価等高騰に伴う支援金事業の現在の実績から下半期において不足が予測されていることから増額しています。

同款、同項、五目産業創出費では、川迎旧たばこ育苗ハウス跡地の売却が決定したことに伴い、同敷地内に設置されているバイオデューゼル整備機械設備を旧現和中学校跡地に移設する費用を計上していますが、移転後に国により実費額の補償があるとの説明でした。九款教育費では、台風十四号による被害を受けた教職員住宅、市内小中学校の学校施設や美浜グラウンドの照明施設の修繕に伴う費用が計上されています。

十款災害復旧費については、台風十四号による被害に対する農地・農業用施設災害復旧費及び現年度発生単独災害復旧費、公共土木補助災害復旧費が計上されています。

続いて、歳入について御報告いたします。

十四款、一項、三目災害復旧費国庫負担金は、台風十四号により被災した現年発生災害復旧事業に対応するものです。

同款、二項、五目総務費国庫補助金には、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に電力・ガス・食料品等価格高騰重点

支援地方交付金が創設されたことに伴う増額となっています。

十五款、二項、九目災害復旧費県補助金は、台風十四号により被災した農道等の現年発生災害復旧事業に対応するものです。

十六款、二項、二目不動産売却収入は、旧馬毛島小中学校跡地及び川迎旧たばこ育苗ハウス跡地の売却予定価格を計上しています。

二十款、四項、一目雑入には、旧馬毛島小中学校跡地及び旧川迎たばこ育苗施設跡地の建物補償金を計上しています。

二十一款、一項、五目災害復旧債は、現年発生農林水産施設災害復旧事業及び現年度公共土木施設災害復旧事業に対応するものです。委員会では、本補正に馬毛島基地建設に直結する土地売却からの収入が計上され、また、バイオデューゼル施設の移設が市民に十分に説明されていないなどの反対意見も出されましたが、慎重審査の結果、賛成多数で可決すべきものとして決しました。

以上で報告を終わります。

○議長（川村孝則君） 委員長報告は終わりました。

予算特別委員会は、議長を除く十三名の議員で構成されておりますので、質疑は省略いたします。

議案第五四号、令和四年度西之表市一般会計補正予算（第六号）の討論に入ります。

反対討論はありませんか。

〔三番 橋口美幸さん登壇〕

○三番（橋口美幸さん） 議案第五四号、令和四年度西之表市一般

会計補正予算（第六号）について、委員長報告に反対の立場から討論を行います。

今回、臨時議会に提案された補正は、主に住民生活に直結する予算が提案されています。具体的には、第一に、台風十四号による道路、教育施設などの災害対策、第二に、第七波のコロナ禍による医療従事者や施設等への慰労金、補助金での対応、第三には、物価高騰対策として施設や市内事業者への支援金一千万円などが計上されておりあります。これらの議案は早急な対応が求められているのは当然です。

しかしながら、同時に提案されている馬毛島小中学校跡地と自衛隊官舎用のたばこ育苗ハウス跡地の土地売却金の売却、バイオ燃料製造施設移設工事費七十五万二千円など、馬毛島への基地建设に直結する提案となっていることは重大で強く指摘をいたします。

市長、あなたは、昨年二期目の市長選挙では公約をいたしました。読み上げます。

地域力の向上、住環境の整備に取り組み、安全で安心な暮らしを実現します。一次産業の振興、商工業、観光の発展に取り組み、安定した仕事、新しい職場を開拓します。子育て、教育、医療、社会福祉の充実に取り組み、子どもたちにお年寄りに優しい社会を実現します。文化の振興、文化財の保存活用に取り組み、歴史あるふるさとの誇りを守ります。馬毛島は豊かな自然を生かし、基地経済に頼らない持続可能な社会を目指します。最後に、故郷を第二の沖縄

にはしません。将来にわたって、平穏な地域を子どもに残します。最後に、八板俊輔は信念は曲げません。

あなたはこのような公約をしたことを覚えていらっしゃるか。私たちは、この公約を全面的に信じて、八板市長を誕生させるために大きな力を注ぎました。それにもかかわらず、今回、九月の三十日に馬毛島市道三路線を手放し、そして、貴重な馬毛島小学校跡地、国に売り渡してしまう提案を議会に出してしまいました。

あなたは、二期目の市長選挙、この公約を再度自分の胸に手を当てて考えてみてください。私たちは、この公約に違反しているのは明々白々ではないか、そう思います。公約について市長がどのような認識なのか、改めて聞きたいと思えます。

今回の予算計上、住民の暮らしに直結する大事な予算だと私たちも認識しています。だからこそ、災害対策やコロナ対策、本当に医療従事者への一万円、二万円では足りないのではないかと、こういうふうに切実に思っております。しかも、物価高、どのような対策が必要なのか、私たちも今後、地方議員としても追及していかなければいけない課題だと十分に思っており、そして努力をしていかなければいけない課題だと思っております。

住民の暮らしに直結することのような予算計上と、そして、市長が公約でしたような、馬毛島の豊かな自然を生かし、基地経済に頼らない持続可能な社会を目指す。故郷を第二の沖縄にしません。将来にわたって、平穏な地域を子どもに残しましょう。八板俊輔は信念

を曲げません。このような公約をぜひとも今後も追求していただきたい、こういうことを切に思います。

私は、この基地建設に直結する重要な予算は市民への説明不足であり公約違反です。市長の政治姿勢と、政治姿勢を強く批判して、以上、反対の討論いたします。

○議長（川村孝則君） 賛成討論はありませんか。

「一三番 田添辰郎君登壇」

○一三番（田添辰郎君） 委員長報告に賛成の立場から討論させていただきます。

四点ほど申し上げたいと思います。

かねてより議会から要望しておりました災害復旧等、また、新型コロナウイルス対策といえども、なるべくならば議会を通していただきたい、そういう要望に、今回、所管課のほうも執行部のほうも答えていただいたことにまずもって感謝申し上げます。

災害復旧の件につきましても、困っている市民の方をいち早く救うことになるかと思えます。また、物価高騰対策、また、新型コロナウイルスへの医療関係者、また介護関係者の見舞金等、なかなか一地方自治体だけではできないことで、ふがない気持ちもあるんですが、やはり国が取り上げて、取り組んでくる対策について、臨時議会の場を設けていただいて、いち早く市民に少しでも手を、手を、救いの手を差し伸べるその思い、感謝いたします。

そして三点目でございます。馬毛島のほうの土地と下西のほうの

土地の二件の売却の、売却に関しての予算措置のほうもされております。また、さらに補償金のほうも、それぞれなされているわけがありますが、今回、議会サイドのほうも様々な意見があるわけですが、まずは、それぞれの目的に沿った基金に適切に積み上げていただいたこと、これも感謝いたします。

四つ目、最後なんですけど、バイオディーゼル事業でございます。現和中学校のほうに移転をするということでございますが、これも実費のほう、取りあえずは市が負担するわけですが、そのかった分は後ほど国、防衛省のほうからきちっと保障していただくといいお話も聞きました。バイオディーゼル事業、再エネ事業も、国のほうも、世界的なムーブメントでありますけど、やはり種子島、西之表市で可能性があるとするれば、バイオマス、バイオディーゼルのかなと思えます。今回は実証的な研究段階であり、それがどういふふうにならば、市民の皆様には分かれないわけですが、もう少し方向性が出てきたならば、市民の皆様にも広く周知され、協力をいただくことにもなるかと思えます。その辺も加味しまして、今回出された案件、私にとっては全て感謝すべき案件であるかと思えます。

以上をもって賛成討論いたします。

○議長（川村孝則君） 反対討論はありませんか。

「五番 宇野裕未さん登壇」

○五番（宇野裕未さん） 議案第五四号について、委員長報告に反対の立場で討論いたします。

先ほど同僚議員からも指摘がございましたとおり、今回の補正予算におきましては、新型コロナウイルスへの対策、そして物価高へ、物価高騰への対策、そして台風への被害への対策と、大変重要な案件が含まれております一方で、今回ですね、私、反対のポイントといたしましたは、先日の九月議会で拙速な議案上程だと批判いたしましたこの馬毛島小中学校跡地の売却に係る予算、そして、川迎の官舎用地取得に関する予算が計上されているところを指摘いたします。

この二点以外はですね、基本的には私自身も、今回の当局側の対応に大変感謝しております。一方で、この馬毛島小中学校跡地、そして川迎の官舎用地の取得に関する予算については、やはり、九月議会でも申し上げましたとおり、基地整備への賛否とは関係ないとしております市長の説明と実態が大変異なっており、多くの市民が混乱しているままです。

先ほどの、先日の九月三十日最終本会議の後でもですね、多くの市民の方からお声かけていただきました。やはり、今回の議会の議論を御覧になっていた多くの方たちからですね、なぜこんなにも早く、住民に説明もないまま物事が進んでいくのか、市長はどこを見て市政を行っているのか、そういった疑問の声たくさん届けられました。そのような中、こうして今回ですね、また臨時議会という形で今回のこの予算が計上されてきているわけでありまして。そもそも、基地問題についての運用が開始された後の件について、まだまだ疑念

が残るところでございます。

十月十一日の南日本新聞で、ちょうど「迫る馬毛島アセス」というコラムがスタートしておりました。この記事の中で、最大の焦点は騒音だというふうに指摘されております。防衛省が、現時点の予測や対策を示した準備書によると、馬毛島での日米航空機の飛行回数には年間二万八千八百十七回、一日二百二十二回と設定。大半を占める自衛隊機の運用時間（午前七時から午後十時）に一時間で約十五回飛びイメージとなる。このニュース報道をですね、改めて市民一人一人、そして、賛成されている市議の皆様にも、ぜひもう一度考えていただきたい。

そして、この記事にはですね、地図も改めて記載されております。六十デシベルから九十デシベルの予測値、予測の地図が出ておりますが、西之表の市街地、そして、中種子町の一部もですけれども、七十デシベルですとか、そういった数値の範囲に入っているわけですね。こういったところを再度、皆さん考えていただきたいと思っております。

今、町中では、工事に先駆けての様々な動きがですね、見えてきているかと思えます。空き店舗がどんどん事務所に変わり、そして今、ホテル等もなかなか予約が取れない、工事関係者で取れない、そういった浮き足だった状況というところも大変よく理解できます。しかし、一方でこの工事が終わった後、私たちには何が残るのか。五年後か十年後か分かりません。工事が全て終わり、そして去った

後、基地運用が始まりました。そのときに、じゃあここで示されて
いました騒音の予測どおりなのか、予測どおりでも大変厳しい状況
だと私は考えておりますが、もしそれ以上だった場合、どのような
未来が残っているのか。

この日中ですね、一時間にこれだけの回数飛行するわけです。
住吉小学校、そして榕城小学校、この海岸沿いに建つ下西小学校も
ですね、子どもたち授業に集中できるんでしょうか。福祉施設もこ
ざいます、病院もあります。そういった一つ一つを考えたときに、
どのような責任を取っていただけるのか。本当に最後の最後だと思いま
すので、いま一度、皆さんにそれを考えていただきたい。

ちょうどですね、同じ九月の末のニュースで、三沢基地を抱える
三沢基地周辺の住民が、強制、集団移転の要請をしたというニュー
スを見ました。国が定める基準値では七十三デシベル以上が計測さ
れるところのエリアですね、集団移転の検査に入れるということで、
二百五十世帯が対象ということですが、この地域の人々がですね、
七十四デシベル以上を何度も計測されるということで、集団移転と
いう要望を出しております。

これ、他人事でしょうか。もう本当にですね、私は遠い青森、三
沢基地周辺、訪れたことございます。とても心が痛いと思います。
そこに住む人たちも、望んでこの集団移転を希望しているわけでは
ございません。

この西之表市でそのようなことがないように、まず、もっとです

ね、調査ですとか環境アセスのこと、そして、もし本当にそういつ
た事態になった場合にどのような補償があるのか、もう少し具体的
に交渉を進めてからの話だと、もう再度、私、繰り返しになります
が指摘をしたいと思います。

そして、最後になりますますが、将来にわたってこの地域コミュニテ
ィに与えるインパクト、そして生活圏内への影響をですね、しっか
りと検討した上で、本来であれば行政手続に入るとい、そういう
段取りを取ってほしいと市長にはお願いを申し上げたいと思い、反
対討論いたします。

○議長（川村孝則君） 賛成討論はありませんか。

「「なし」と呼ぶ者あり」

○議長（川村孝則君） ほかに反対討論はありませんか。

「「なし」と呼ぶ者あり」

○議長（川村孝則君） 賛成討論はありませんか。

「「なし」と呼ぶ者あり」

○議長（川村孝則君） 以上で討論を終結し、これより本案を採決
いたします。

この採決は電子表決により行います。

本案について、委員長報告のとおり決することに賛成の方は賛成
のボタンを、反対の方は反対のボタンを押してください。

それでは、電子表決を開始いたします。
ボタンの押し忘れはありませんか。

「「なし」と呼ぶ者あり」

○議長（川村孝則君） 押し忘れなしと認めます。採決を確定いたします。

賛成多数であります。

よつて、本案は原案のとおり可決されました。

これを持ちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

△市長挨拶

○議長（川村孝則君） 閉会に当たつて、八板市長から発言を求められておりますので、これを許可いたします。

〔市長 八板俊輔君登壇〕

○市長（八板俊輔君） 令和四年第二回西之表市議会臨時会の閉会に当たり御挨拶を申し上げます。

本臨時会に提出いたしました議案につきましては、議決いただきましたことに対し、感謝申し上げます。一刻も早く対応するよう努めてまいります。

今後も積極的に国等の予算を獲得し、市民福祉の向上に努めてまいりますと考えます。これからも、住民のための施策はいかにあるべきか、しっかりと考えながら市政に取り組んでまいります。

今月本県で開催された第十二回全国和牛能力共進会では、鹿児島県が見事日本一に輝きました。鹿児島黒牛のさらなる消費拡大は、本市の畜産業等への大きな励みにもなると期待いたします。

季節も晩秋を迎え、朝夕も日が短くなり、だんだん冷え込むよう

になってまいりました。季節の変わり目、体調を崩しやすいときでもあります。御注意いただければと思います。

最後に、市民の皆様の御多幸と議員各位の御活躍を祈念申し上げ、閉会に当たりましたの挨拶とさせていただきます。

ありがとうございます。

△閉 会

○議長（川村孝則君） 以上を持ちまして、令和四年第二回西之表市議会臨時会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午後二時六分閉会

地方自治法第二百二十三条第二項の規定によつてここに署名する。

議 長

九 番 議 員

一 〇 番 議 員